二子山トレッキング　（武甲山前衛の山）

2019年9月21日　　青木記

9月17日 （火） 二子山（芦ヶ久保）　　参加者　7名　（男性4名、女性3名）

集合場所と時間：西武秩父線　芦ヶ久保駅　9時10分

　トイレと簡単体操を済ませて、忘れ物と充分な飲み物チェツクを確認し、9時17分歩き始めです。芦ヶ久保駅線路沿いの坂を下り、道の駅裏を通り過ぎて左に曲ると西武鉄道の線路下のトンネルがあり、そこをくぐり抜けると、登山道の始まりです。

　10分位登り始めて沢添いに出ると、川が前日の雨で増水しており、水音とマイナスイオンたっぷり浴びながら、そして風が通り抜ける谷間を涼しく歩きました。水場では手を洗い、水分を摂取して果物を食べました。その後は、１時間半で尾根にでて、落葉樹、カラ松、赤松の自然林を進み、単独行動の若い登山者2人と挨拶を交わしました。更に、しばらく歩き続けると、いよいよ山頂直下の急登です。前日の雨と粘土質のために滑りやすく、歩き難くて大変でした。幸いロープが張って有り助かりました。150m位登ると雌岳山頂に到着です。展望が良く無い為、隣の雄岳まで行くことに。12時5分、雄岳到着です。

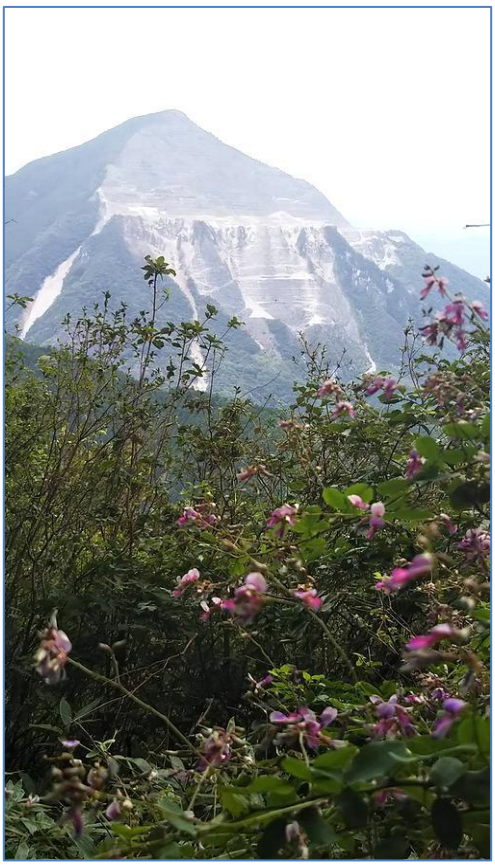
　山頂からは武甲山の展望が目の前に、また遠くには両神山、小鹿野の二子山、秩父の山並みなどをハッキリ見ることができました。ゆっくりと昼食をとり、13時下山開始。復路は来た道を帰ります。

　下山は登りより緊張の連続。転ばないように慎重に慎重に歩きました。沢沿いに来た時30m先に鹿が大声で鳴き、私たちをビックリさせました。（雄の鹿に違いないと思うのですが？）
いろいろ話をしたり、笑ったりしていると西武秩父線の線路が目に入って来ました。無事15時15分下山出来ました。道の駅で休んで15時53分飯能行電車で帰りました。

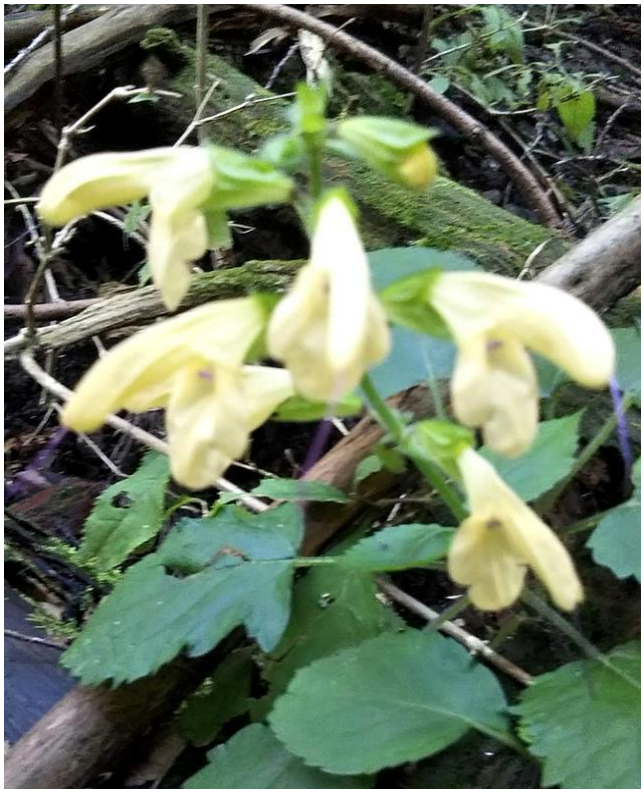
　今回の花は小さくヒッソリと咲いて居ました。ミズヒキ、キバナアキギリ、ヤマジノホトトギス、ススキ、ハギ等でした。二子山の計画は7月中旬に、募集は31日に、9月の山行は残暑と台風が気になっていましたが、お天気に恵まれ又、皆様のご協力で楽しい山行になりました。

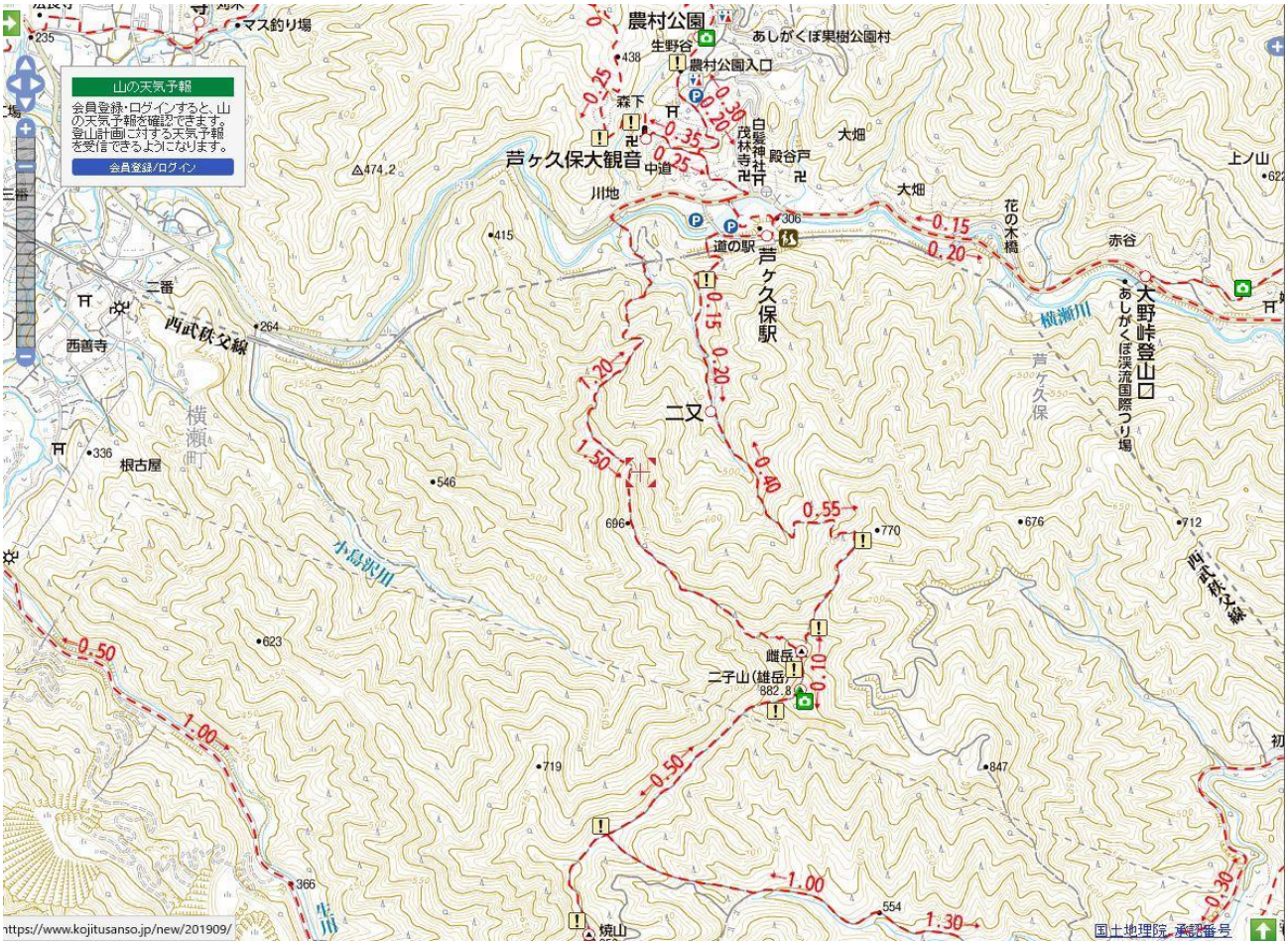
双子山の山頂から武甲山を望む

二子山の頂上を目指して



ハギ（萩）の向こうは武甲山



キバナアキギリ（黄花秋桐）

ヤマジノホトトギス（山路の杜鵑草）